

2026年度 環境教育講座

整理番号: 20250827

事業名	令和8年度 環境学習指導者養成講座		
活動名	循環型社会の実現に向けた環境行動の実践に向けて		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業

活動の目的
環境問題や資源循環に対する市民の知見・理解を深める。 地域社会において環境学習や普及啓発活動に携わる人材（指導者）を育成・増員する。

実施内容	
活動日時	2026年8月27日（木）13:00～14:30
活動場所	浜松市立西部清掃工場 えこはま 会議室（浜松市中央区篠原町26098-1）
活動者名	高根美保
詳細	テーマ:循環型社会の実現に向けた資源循環の強化 座学講:ごみの定義と基礎知識 ・廃棄物法について（法律・制度の概要） ・浜松市のごみの現状（最新データ） ・ 環境行動（3R）とエシカル消費について（日常生活でできる具体的なアクション） 施設見学: 西部清掃工場見学

事業の成果	参加者 6名+引率3名 配布物: ごみ減量リーフレット、スッカリ・エコ自慢、食品ロスメモ帳、雑がみPP、雑がみ啓発マグネット、紙容器リサイクル紙袋、清掃工場パンフレット 成果: 参加者は浜松市のごみの現状や廃棄物処理の仕組みについて知見を得るとともに、エシカル消費や3Rといった実践的な環境行動への理解を深めることができました。 参加者からは「周囲に伝えていく」という指導者としての意識の芽生えや、家庭での即座な実践（生ごみの水切り等）への高いモチベーションが見られました。今後、参加者が地域のリーダーとして環境学習の輪を広げていくことが期待されます。 <参加者の感想(要約)> 日々の生活習慣を見直す具体的な決意や、消費活動に対する意識の変化、周囲への波及への意欲など、前向きな意見が寄せられました。 【家庭での具体的なごみ減量・分別への決意】 ・生ごみを出す時はしっかり水を切る・絞ることを習慣化し、家族で実践します。 ・コンポストの活用にも挑戦してみたいです。 ・もえるごみとプラスチックごみの分別をこれからも徹底します。 【消費行動・ライフスタイルの見直し】 ・物を買う時は、最終的にそれがごみになることまで考える大切さを学びました。 ・余計なものは買わない、ごみを家に持ち帰らないようにします。 ・ヒトが生み出したものはヒトが最後まで責任を持つという『使う責任』を感じました。 【指導者・普及啓発としての意識】 ・“もったいない”の精神を大切に、これからも環境に負荷をかけない努力を続けます。 ・ごみを減らす取り組みを、自分だけでなく周りの人々にも伝えていきます。
-------	--

